

SBBシリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書も含め添付品をお客様へお渡しください。

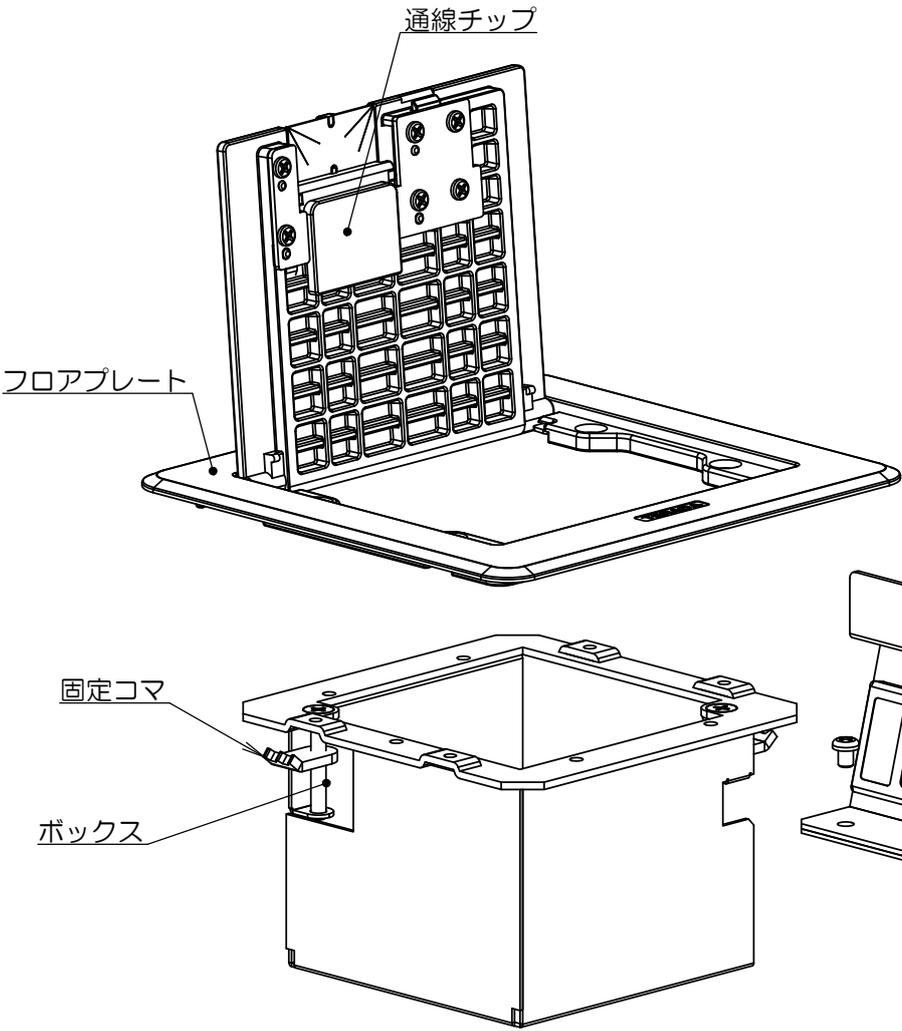
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。 ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者が行なってください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。 ◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
 必ず守る	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。 ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 ◆床に堅固に取付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

◆部品構成と名称



通線チップ

フロアプレート

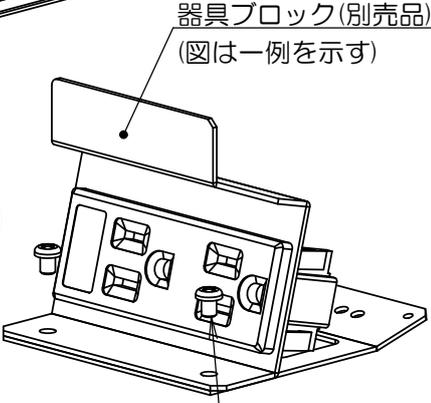
固定コマ

ボックス

フロアプレート添付品



取付用サラネジ
M4×8 4本



器具ブロック(別売品)
(図は一例を示す)

器具ブロック取付用添付ネジ
ナベネジ M4×5 2本

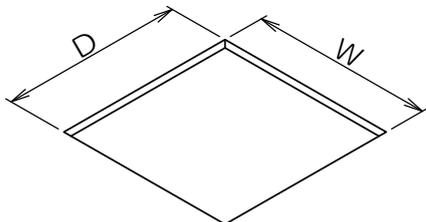
施工方法

1 開口寸法の確認

フロアパネルの開口寸法を確認してください。

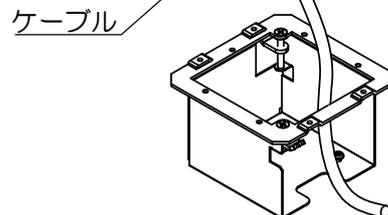
SBBシリーズ

(D)90±2 × (W)90±2



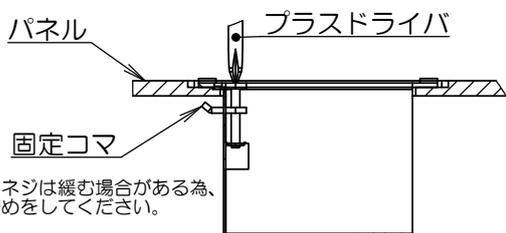
2 ケーブルの引き込み

フロアパネルの開口部にボックスを入れ、ボックス内にケーブルを引き入れてください。



3 ボックスの固定

ボックス固定用ネジ2本を締込み固定コマで、フリーアクセスパネルをはさみます。



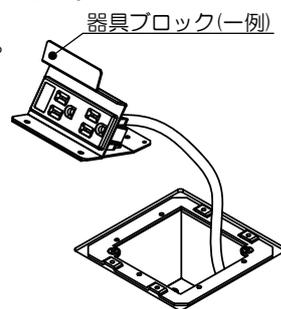
ボックス固定用ネジは緩む場合がある為、定期的に増し締めをしてください。

※ボックスを取り外す際は必ずボックス固定用ネジを緩めてください。ただし、下げ過ぎると破損や機能不良の原因になります。

4 器具ブロックの配線

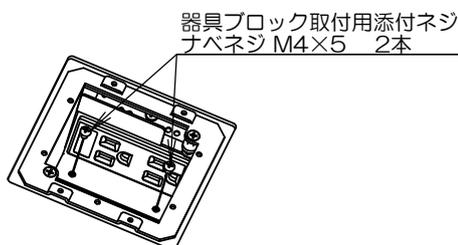
ケーブルを配線器具に接続してください。

配線方法については各コネクタの配線方法に従って行ってください。電源付の機種はアースネジに必ずアース線を接続してください。



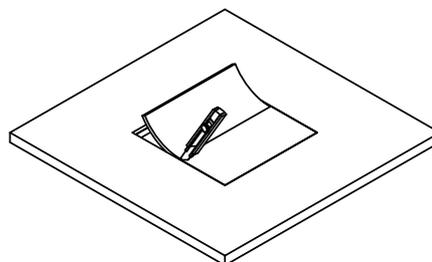
5 器具ブロックの取付

器具ブロックを添付のナベネジ(M4×5)2本でボックスに取り付けてください。



6 仕上げ材の開口

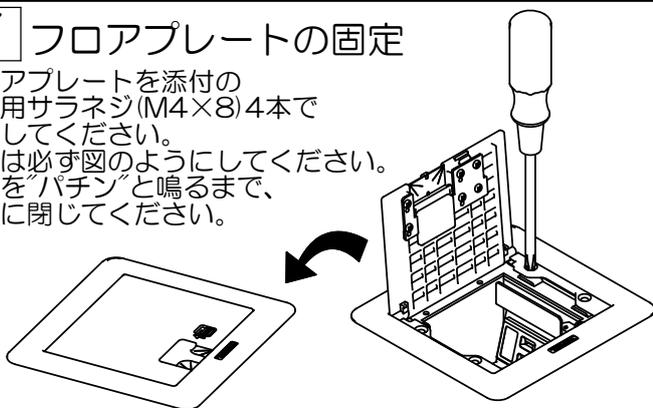
床仕上げ材を指定寸法に開口します。開口寸法は118~122×134~138



7 フロアプレートの固定

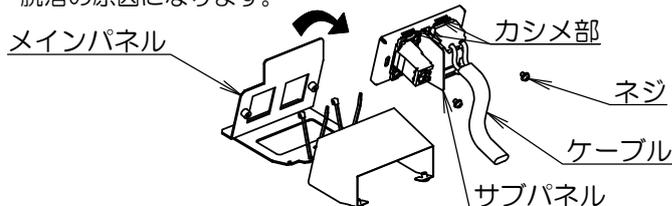
フロアプレートを添付の取付用サラネジ(M4×8)4本で固定してください。

向きは必ず図のようにしてください。フタを「パチン」と鳴るまで、完全に閉じてください。



注 複合器具ブロックの接続が行い難い場合

2本のネジを緩めサブパネルを外し、ケーブルを配線器具に接続してください。接続後、サブパネルのカシメ部が上になるように、メインパネルに取付け直してください。※配線器具を固定しているカシメを緩めないでください。脱落の原因になります。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361